

宣教支援センター

全国支援・地域協働プロジェクト
バプテスト北九州地方連合
宣教支援センター
ニュースレター◆ 第7号

更に豊かな教会の歩みに向けて！



苺田キリスト教会牧師 佐藤清一

10月18日、私たちの教会では、宣教支援センターの齊藤弘司主事をお迎えしました。教会学校での学びにも加わっていただき、礼拝を捧げました。教会学校では、中高生の発言を教会員と共に積極的に受け止めてくださり、学びを深めるべく応答されました。「教会に伴走したい」という主事の思いがそこからよく伝わりました。礼拝後、女性達が腕を振るって準備した食事を頂き、懇談の時を持ちました。

準備について。苺田教会では、9月半ばに主事来会を伝えられて以来、できるだけ多くの人々が集まってくださることを願い、週報に記し、礼拝後には礼拝参加者に呼びかけてきました。それは、私たちの教会もまた、主から使命が与えられてこの地に立てられ、諸教会の祈りと交わりに支えられて存在していることを共に覚え直したいと思ったから。連合に加えられている教会としての歩みを再考する機縁にしたいと思ったからです。そして何よりも大きな理由。それはこの苺田の地にあって、私たちが活力ある教会としての歩みをなしつつ、主に用いられるものでありたいと願っているからです。

懇談では、まずは自己紹介。その中で、かつての教会消滅を目の当たりにし、私たちの教会も同じ道筋をたどるのではないかとの危惧を抱いたとの（教会員からの）発言がありました。『宣教支援センターハンドブック』を読んだ教会員からの質問に、主事は、諸教会における取り組みの一例を紹介しながら、「隣人にインマヌエル（神、我らと共にいます）の恵みを形にして届けたいですね」と答えられました。教会として今一度祈ると共に、その現実化へと思いを向けました。同時に、社協など、地域の社会資源との連携も話題に上り、それも具体的な働きのヒントになりました。

「一気に大きな力を加えても瞬間的な変化にとどまるけれども、小さな振動を加え続けることによって、やがては継続的で大きな変化を期待できるのでは」との主事からの示唆は、いまの苺田教会にとって、とても印象深いものでした。

主事の礼拝出席は、私たちの教会が課題を更に抽出し、取り組み方を探索する上での促進剤になりました。豊かな交わりを感謝します。

◇教会訪問記◇

⑳ 小野田 教会 ..8月12日 (月)



私が小野田教会を訪ねた日はあいにくの雨模様でした。それでも預かり保育に来ている子ども達の元気な声が響いてきて、雨を吹き飛ばさんばかりの勢いでした。

小野田はかつて海底炭鉱で栄えた町です。下関教会におられたハワード宣教師の開拓伝道によって生み出された教会です。教会組織をしてまもなく小野田めぐみ幼稚園を設立。1960年代にはなんと300名近い園児が通っていた記録が残っているそうです。

もともとは今、幼稚園の保育室に使っているホールが会堂だったとのこと。床をよく見ますと、床板の一部が四角い蓋になっていて、床下にパプテストリーがあります。

佐野太牧師が着任して4年目、教会員の数は横ばいですが、園児数は2011年度の37名から2015年度は56名に増えました。ブログを頻繁に更新して、子育て中のお母様方に関心を持っていただけるよう、情報発信に努めておられるとのことでした。

お隣の防府教会までは一般道経由で約1時間の距離です。これまでも定期的に合同祈祷会をしたり、連合の集会に参加する時、一緒の車に乗り合わせたりしていると伺いました。山口地区でも既に教会協働の業が起こされていることを知って、私はとてもうれしく思いました。

㉑ 門 司 教会 ..8月12日 (月)



門司区の老松公園を抜けると、とんがり屋根の門司教会とさいわい幼稚園が並んで立っています。さいわい幼稚園は桐原恩恵牧師のお父様が創立された個人立の幼稚園です。2015年度は70名の園児たちが元気に通ってきています。

幼稚園は土曜日がお休みです。日曜日の教会学校と主日礼拝への参加を、幼稚園の行事にするためだそうです。礼拝出席は20名前後。卒園児やそのお子さんなど、幼稚園とのゆかりのある方々を中心に、礼拝が守られているとのことでした。

この3月まで6年間休まず主日礼拝に来ていた西南女学院高校の生徒が、牧師推薦で東京の大学に合格したとのこと。夏休みの帰省で教会に顔を出して、メンバーとの再会を喜び合ったそうです。彼女の存在が教会員の励みになっていると伺いました。

幼稚園ではこれまで通園バスの運転を、園長と2名の女性教職員で担当してきました。安全管理を徹底するため、9月から運転手を外部派遣に切り替えるとのことでした。「たとえコストがかかったとしても、子ども達の安全には代えられません」とおっしゃる桐原牧師。さいわい幼稚園が地域から愛されている理由は、この誠実さにあると私は思いました。

② 下 関 教 会 ・ ・ 8 月 1 9 日 (水)



下関教会では7名の教会員の方々が私を迎えてくださいました。

定期総会資料の表紙には教会の沿革が記されています。下関教会は1885年、アップルトン宣教師によって伝道が始まりました。来年で伝道開始130年の節目の年を迎えるそうです。日本のプロテスタント教会の中でも、指折りの歴史ある教会です。会堂の使い込まれた木材が、下関教会の歴史を物語っています。

下関教会は今年4月から無牧師となりました。牧師招聘委員会が中心になって、牧師招聘に向けた取り組みが進められていると伺いました。

7月25日(土)には深坂森の家で、教会学校幼小科のデイキャンプが行われ、13名の子ども達が元気いっぱい集まったそうです。当日は西南神学部の元川信治神学生が夏期研修に来られて、子ども達の相手をしてくださったとのこと。翌日の礼拝宣教もご奉仕くださったそうです。

教会から少し離れたところに下関めぐみ幼稚園があります。幼稚園には75名もの園児が与えられています。教会と幼稚園のつながりを活かして、母親のための「聖書を学ぶ会」が月1回行われていると聞きました。8名前後の参加があるそうです。

自分たちにとって居心地のよい教会から、他者に開かれた教会へ。下関教会のこれからに期待しています。

③ 小 倉 教 会 ・ ・ 8 月 1 9 日 (水)



小倉教会は JR 小倉駅から南東方向の古船場町にあります。会堂の二階がきれいにリフォームされていて、事務室兼ミーティングルームになっています。訪問当日は、藤田英彦協力牧師をはじめ9名の方々が出迎えてくださいました。

教会はフィリピン人、アメリカ人、ベトナム人のメンバーが集っていて、国際色が豊かな教会です。小倉駅近くのビルで集中研修があるときには、アジアからの研修生たちがまとまって礼拝に来られることもあると伺いました。

小グループ活動が盛んなこともこの教会の特徴のひとつです。御言葉書道、がらがらどん(読み聞かせ)、歩こう会、賛美グループ、One in Grace が定期的な活動をしています。

かつて涌金幼稚園が使っていた教室は「ゆうきんホール」として用いられています。8月30日(日)にはセンター運営委員会の会場としても使わせていただきました。

教会の祈りの課題は、専任牧師が与えられることです。牧師招聘委員会が立ち上げられているほか、水曜日の祈祷会では藤田協力牧師の導きによって、ロマ書の学びを続けています。イエス・キリストをかしらする教会を形成していくために必要な事柄について、6～8名の方と分かち合いを続けているそうです。小倉教会にふさわしい牧師が与えられるようお祈りください。

～「いきいきサロン in とみの」に参加してきました～



10月14日(水)私は富野教会のいきいきサロンに参加させていただきました。いきいきサロンとは地域のお年寄りに語らいの場所を提供したいという思いから始められた働きで、8年目に入りました。

プログラムは11時半の昼食準備に始まります。お互いの顔が見えるように五角形に並べられたテーブルで、昼食を美味しくいただきました。ご飯は教会の台所で炊き、おかずは持ち寄りの愛さん会形式で分け合います。300円の会費とは思えない充実した内容でした。

食事が終わるとピアノ伴奏で歌を歌います。唱歌から歌謡曲までレパートリー豊かなのですが、讚美歌のリクエストが多いのだそうです。次に介護予防「きたきゅう体操」の時間です。パンフレットを見ながら、椅子に座ったままでできる体操にトライ。いきいきサロンは北九州市の健康マイレージ事業に参加していますので、40歳以上の方であれば、1回の体操で1枚のシールが貰えます。半年に5枚以上集めると、もれなく景品をいただくことができます。最後はお楽しみのレクリエーションです。床に置いたタッパウェアにお手玉を入れる簡単なゲームでしたが、意外と難しく、かなり盛り上がりました。スタッフの加賀美法子姉は「サロンを楽しみにされている方が多いので、第2・第4水曜日のプログラムを欠かさないように気を付けています」とのことでした。

■編集後記

10月11日に直方教会の主日礼拝に出席した時のことです。会堂に入ろうとした私の目に飛び込んできたのが、特別集会(10/25)のポスターでした。講師のリディア・ハンキンス先生の宣教題は「最悪に立つとき」。いったいどんなお話をされるのだろうと、興味が湧いてきました。

私は教会訪問の折に、従来の特別伝道集会では新来者を招くことが難しいという声をいくつもお聞きしました。

10月17日(土)には門司港教会で今村幸文牧師(早良)による特別伝道集会があり、今村牧師が渾身の説教をされていたと鍋倉先生から伺いました。私は伝道をあきらめません。なぜならばイエス様が先立ってくださるからです。

(齊藤弘司)



■主事の礼拝出席について

10月から主事の礼拝出席が始まっています。第4週は東八幡教会に出席し、その他の週に、連合内の教会にお伺いしています。訪問時には主事と牧師・信徒の皆様方との懇談の場を設けていただけますと、有意義な時間になると思います。ご質問にお答えすることもできます。

訪問日のご相談を随時お受けしています。センター事務局までご連絡ください。共に礼拝できる日を楽しみにしています。

発行日	2015年11月5日
発行責任者	山田 雄次
発行所	
〒805-0015	
北九州市八幡東区荒生田 2-1-40	
東八幡キリスト教会内	
連合宣教支援センター事務局	
TEL&FAX (093)651-6669	